

証拠書類(記入例)

公益社団法人 日本透析医会

目 次

収支決算報告書	1
預金口座開設報告書（様式第1号）	2
研究助成金領収証書（様式第2号）	3
研究助成金収支簿[総括表]（様式第3号）	4
研究助成金収支簿[経費別]（様式第4号） 諸謝金・旅費・消耗品費	5
印刷製本費・通信運搬費・借料及び損料	6
会議費・賃金・雑費・委託費	7
謝金受領書（様式第5号）	8
謝金支払証明書（様式第5号の2）	9
旅費精算請求書（様式第6号）	10
旅費概算請求書（様式第6号）	11
旅費概算払い後の精算請求書（様式第6号）	12
賃金受領書（様式第7号）	13
賃金支払証明書（様式第7号の2）	14
出務整理簿（様式第8号）	15
立替払調書（様式第9号）	16

平成 年 月 日

日本透析医会 会長 秋澤 忠男 殿

研究者 所属施設名
(フリガナ)
氏 名 ⑩

収支決算報告書

平成 年度 日本透析医会研究助成事業 (**研究課題名**) の収支決算について、次のとおり関係書類を添えて報告致します。

1. 研究助成金受領額 ¥ 2,000,000 -

2. 研究費支出額 ¥ 2,000,050 -

※実際に研究に支出した総額を記入のこと

経費区分	支出額	費用区分等内訳	備考
諸謝金	115,400		
旅費	139,460		
調査研究費	1,245,190	備品費 0 消耗品費 587,044 印刷製本費 430,000 通信運搬費 4,000 借料及び損料 118,900 会議費 25,250 賃金 78,760 雑費 1,236	
委託費	500,000		
合計	2,000,050		

3. 差額 ¥ 50 - (内訳) 預金利息 20円

※2. と1. の差額について記入のこと

自己資金 30円

預金口座開設報告書

1. 口座開設日	平成	年	月	日
2. 金融機関名	銀行 金庫		本店 支店	
3. 預金種別	普通		当座	
4. 口座名義	日本透析医会研究助成事業 氏名 口座番号			

必ず該当個所を囲うこと

研究者の氏名

上記のとおり預金口座を開設したので、お届けいたします。

平成 年 月 日

所属施設名

(フリガナ)
研究者氏名 _____ (印)

日本透析医会 会長 秋澤 忠男 殿

本証書の提出日を記入すること。

平成 年 月 日

研究助成金領収証書

日本透析医会から振り込まれた額

¥ 2,000,000—

研究事業年度

ただし、平成 年度 日本透析医会 研究助成金の承認額として、
上記のとおり領収いたしました。

預金通帳の入金年月日を記入。
収支簿(総括表)の助成金受入月日。

領収年月日 平成 年 月 日

所属施設名

(フリガナ)

研究者氏名 印

日本透析医会 会長 秋澤 忠男 殿

(第3号様式)

平成 年度 研究助成金 収支簿 (総括表)

本表の内容は預金通帳の年月日と一致させることが望ましい。但し、同日付け複数宛の総合振込みをした場合にあっては、通帳上は総額で差し支えないが本表上は費目、契約、振込先別に記載する。

研究者 氏名
所属施設名 (フリガナ)

印

(単位:円)

年月日	摘要	受	払	残額
HXX.10.1	助成金受入(日本透析医会より)	2,000,000		2,000,000
HXX.10.11	消耗品費 事務用品(6/15●●氏立替え)		5,250	
HXX.10.11	消耗品費 事務用品(秋葉原文具店)		120,750	
HXX.10.11	雑費 振込み手数料(神田銀行)		630	
HXX.10.12	諸謝金 ○○□□(研究補助)		13,200	
HXX.10.20	消耗品費 研究用器材(御茶ノ水商会)		16,800	
HXX.10.31	旅費 ○□××会議出席概算払い		39,060	
	10月分計	2,000,000	447,350	1,552,650
HXX.11.10	印刷製本費 アンケート調査表(千代田印刷)		105,000	
HXX.11.10	通信運搬費 郵便切手代(須田町郵便局)		4,000	
HXX.11.13	旅費 ○□××概算支払額の精算		400	
HXX.11.15	賃金 ○○△△資料整理等		78,760	
	11月分計		439,820	1,112,830
HXX.12.10	諸謝金 (講師謝金)		8,100	
HXX.12.10	借料及損料 会議室使用料(ホテル淡路町)		18,800	
HXX.12.10	会議費 コーヒー代(ホテル淡路町)		5,250	
HXX.12.11	旅費 ○○××他3名分会議出席		10,000	
	12月分計		293,810	819,020
	次葉へ繰越し	2,000,000	1,180,980	819,020

年月日	摘要	受	払	残額
	前葉より繰越し	2,000,000	1,180,980	819,020
	1月分計		251,660	567,360
HXX.02.25	印刷製本費 研究報告書(千代田印刷)		315,000	
HXX.02.25	雑費 振込み手数料(神田銀行)		630	
	2月分計		315,630	251,730
HXX.03.06	利息(神田銀行)	15		
HXX.03.06	解約利息(神田銀行)	5		
HXX.03.08	通信運搬費 郵便はがき代(須田町郵便局)		50	
HXX.03.08	自己負担金	30		
	3月分計	50	251,680	0
	累計	2,000,050	2,000,050	0

(第4号様式)

平成 年度 研究助成金収支簿 (経費別)

所属施設名
研究者 (フリガナ)
氏 名

印

証拠書類の一連の番号を記入
費用 (費用区分) の頭文字を記入

経費区分 諸謝金

(単位: 円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.10.12	〇〇 □□(研究補助)	(臨床工学技士) @6,600×2日分		13,200	謝-1
H XX.12.10	△× △△(講師謝金)	(■■総合病院院長)		8,100	謝-2

経費区分 旅 費

(単位: 円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.10.31	〇□ ××・概算払い 研究打合会・資料収集	東京⇄名古屋市(□□ 大学附属病院)		39,060	旅-1
H XX.11.13	〇□ ××分・ 概算払精算不足額の追給	特急料金割増修正 繁忙期料金200円×2		400	〃
H XX.12.11 (XX.12.11)	〇〇 ××ほか3名分 研究打合会(都内)	一式×10,000円 (別添のとおり)		10,000	旅-2

一式として4名分総額の記入でよい。各人の旅費精算請求
(第6号様式)が別添の内訳明細書となります。

経費区分 調査研究費

費目区分 消耗品費

(単位: 円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.10.11 (XX.6.15)	事務用品(封筒ほか5点) :●● ●●立替払分	一式×5,000 (別紙内訳のとおり)	250	5,250	消-1
H XX.10.11	事務用品(USBメモリ他 30 点代) :秋葉原文具店	一式×115,000 (別紙内訳のとおり)	5,750	120,750	消-2
H XX.10.20	研究用消耗品 :御茶ノ水商会	@400×40個=16,000円	800	16,800	消-3

立替払いの日付を()で記入

1契約ごとに見積書・納品書・請求書・領収書の総て
に同じ証拠書類番号を付記し、一連で整理すること。

(第4号様式)

経費区分 調査研究費
費目区分 印刷製本費

(単位：円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.11.10	アンケート調査表印刷代 :千代田印刷	500部×@200=100,000	5,000	105,000	印-1
H XX.11.18	角Ⅱ封筒(差出名印刷) :秋葉原文具店	500枚×@20 = 10,000	500	10,500	印-2
H XX.02.25	研究報告書印刷製本代 :千代田印刷	300冊×@1,000= 300,000	15,000	315,000	印-3

経費区分 調査研究費
費目区分 通信運搬費

(単位：円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.11.10	郵便切手代 :須田町郵便局	50枚×@80		4,000	通-1
H XX.11.21	郵便切手代 :須田町郵便局	500枚×@80		40,000	通-2
H XX.01.14	宅配料 :水道橋宅配便	資料一式		750	通-3

経費区分 調査研究費
経費区分 借料及び損料

(単位：円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.12.10	会議室使用料 :ホテル淡路町	研究成果検討会 一式 18,000	900	18,900	借-1
H XX.12.14	会議室使用料 :ホテル淡路町	研究打合せ会 一式 24,000	1,200	25,200	借-2
H XX.12.21	会議室使用料 :ホテル淡路町	研究打合せ会 一式 18,000	900	18,900	借-3

(第4号様式)

経費区分 調査研究費
費目区分 会議費

(単位：円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.12.10	コーヒー代 :ホテル淡路町 (研究成果検討会 10名)	10 個 × @500=5,000	250	5,250	会-1
H XX.12.14	お弁当代 :ホテル淡路町 (研究打合せ会 6名)	6 個 × @1,000	内税	6,000	会-2
H XX.12.21	コーヒー代 :ホテル淡路町 (研究打合せ会 12名)	12 個 × @500=6,000	300	6,300	会-3

経費区分 調査研究費
費目区分 賃 金

(単位：円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.11.15	〇〇 △△(資料整理等) 10/2~10/26	@8,300 × 8 日 =66,400 @1,030 × 12H =12,360		78,760	賃-1

経費区分 調査研究費
費目区分 雑費

(単位：円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H.XX.10.11	振込手数料: 神田銀行	秋葉原文具店支払い 1 件 × @600	30	630	雑-1
H XX.11.20	スライド作製料 :神保町カメラ	20 枚 × @500	500	10,500	雑-2

経費区分 委託費

(単位：円)

年月日	区 分	根 拠		金額	証 拠 書 類 番 号
		員 数×単 価	税		
H XX.02.23	集計分析業務 :(一財)●●総合研究所	アンケートデータ 1 式	内税	500,000	委-1

費用区分(諸謝金)の“謝”の字

証拠書類番号

謝 - 1

時系列一連の番号を記入
(謝金支払証明書と同一人同番号)

謝金受領書

1. 用務の目的	研究補助 ← 4. 経費区分について(1)諸謝金を参照のこと		
2. 用務の内容	資料および文献の収集と分析業務		
3. 用務の期間	平成 年 月 日から	} 2 日間	平成 年 月 日まで
4. 謝 金	単 価		6,600 円
	金 額	13,200 円	
5. 備 考			

上記金額を受領いたしました。

平成 年 月 日

住 所

フリガナ

氏 名

Ⓜ

日本透析医会 研究助成事業
研究者

殿

謝金支払証明書

1. 用務の目的	研究補助		
2. 用務の内容	資料および文献の収集と分析業務		
3. 用務の期間	平成 年 月 日から	} 2 日間	
	平成 年 月 日まで		
4. 謝 金	単 価	6,600 円	源泉徴収なし
	金 額	13,200 円	
5. 備 考			
上記のとおり支払ったことを証明する。 平成 年 月 日 日本透析医会 研究助成事業 研究者 (印) 住 所 (フリガナ) 氏 名 殿			

精算払いの場合 ※精算請求書のみ

(第6号様式)

費用区分旅費の“旅”字

証拠書類番号 旅 - 1

時系列に一連番号を記入

概算
精算
請求書

該当外の項目に抹消線を引くこと

旅行後の精算請求日を記入

平成 年 月 日

日本透析医会研究助成事業
研究者 殿

請求者 所属施設
職 名 _____
(フリガナ) _____
氏 名 _____ (印)

下記のとおり旅費を請求します。

用務地			用務の内容					
名古屋市東区〇〇〇番地 □□大学附属病院会議室			研究打合せ会議出席及び資料収集					
概算額		精算額		追求額		返納額		
0円		39,460円		0円		0円		
年月日	出発地 (最寄駅)	到着地 (最寄駅)	鉄道賃等(円)			航空賃 (円)	計 (円)	
			路程 (km)	運賃	急行 料金			
XX.11.11	東京	名古屋	366.0	5,970	ト4,610	0	10,580	
XX.11.12	名古屋	東京	366.0	5,970	ト4,610	0	10,580	
				11,940	9,220		21,160	

宿泊地	日当(円)			宿泊料(円)		
	日数	定額	計	夜数	定額	計
名古屋市	2日	2,600	5,200	1夜	13,100	13,100

上記の金額を領収いたしました。

平成 年 月 日

氏名 _____ (印)

概算払いの場合 ※概算請求書・精算請求書ともに必要

(第6号様式)

証拠書類番号	旅 - 1
--------	-------

概算
請求書
旅費
精算

該当外の項目に抹消線を引くこと

旅行日以前の請求日

平成 年 月 日

日本透析医会研究助成事業
研究者 殿

請求者 所属施設
職 名 _____
(フリガナ)
氏 名 _____ (印)

下記のとおり旅費を請求します。

用務地			用務の内容					
名古屋市東区〇〇〇番地 □□大学附属病院会議室			研究打合せ会議出席及び資料収集					
概算額		精算額		追求額		返納額		
39,060円		0円		0円		0円		
年月日	出発地 (最寄駅)	到着地 (最寄駅)	鉄道賃等(円)			航空賃	計 (円)	
			路程 (km)	運賃	急行 料金	(円)		(円)
XX.11.11	東京	名古屋	366.0	5,970	ト4,410	0	0	10,380
XX.11.12	名古屋	東京	366.0	5,970	ト4,410	0	0	10,380
				11,940	8,820			20,760

宿泊地	日 当 (円)			宿泊料 (円)		
	日数	定額	計	夜数	定額	計
名古屋市	2日	2,600	5,200	1夜	13,100	13,100

上記の金額を領収いたしました。

平成 年 月 日

氏名 _____ (印)

証拠書類番号	旅 - 1
--------	-------

~~概算~~
 旅費 請求書
 精算

旅行後の精算請求日

平成 年 月 日

日本透析医会研究助成事業
研究者 殿

請求者 所属施設
 職 名 _____
 (フリガナ) _____
 氏 名 _____ (印)

下記のとおり旅費を請求します。

用務地			用務の内容					
名古屋市東区〇〇〇番地 □□大学附属病院会議室			研究打合せ会議出席及び資料収集					
概算額		精算額		追求額		返納額		
39,060円		39,460円		400円		0円		
年月日	出発地 (最寄駅)	到着地 (最寄駅)	鉄道賃等(円)			航空賃	計 (円)	
			路程 (km)	運賃	急行 料金	(円)		(円)
XX. 11. 11	東京	名古屋	366.0	5,970	ト4,610	0	0	10,580
XX. 11. 12	名古屋	東京	366.0	5,970	ト4,610	0	0	10,580
				11,940	9,220			21,160

宿泊地	日 当 (円)			宿泊料 (円)		
	日数	定額	計	夜数	定額	計
名古屋市	2日	2,600	5,200	1夜	13,100	13,100

※特急料金：通常期→繁忙期料金に修正精算

上記の金額を領収いたしました。

平成 年 月 日

氏 名 _____ (印)

賃金受領書

1. 仕事の目的	研究補助	
2. 仕事の内容	資料整理及び調査票作成補助作業	
3. 対象の期間	平成 年 月 日から } のうち、以下の12日間 平成 年 月 日まで } (内訳) 1日執務 (2, 3, 4, 5, 9, 10, 11, 12) = 8日 2H執務 (26)・3H執務 (17, 19)・4H執務 (24) = 12時間 <u>支給対象日数及び時間数 = 8日間と12時間</u>	
4. 賃 金	単 価	@8,300円/日・@1,030円/H
	支給総額(A)	78,760円
	源泉徴収額(B)	0円
	差引支給額 (A) - (B)	78,760円
5. 備 考		
上記金額を受領いたしました。 平成 年 月 日 住 所 氏 名 (印) 日本透析医会研究助成事業 研究者 殿		

賃金支払証明書

1. 仕事の目的	研究補助	
2. 仕事の内容	資料整理及び調査票作成補助作業	
3. 対象の期間	平成 年 月 日から } のうち、以下の12日間 平成 年 月 日まで } (内訳) 1日8H執務 (2, 3, 4, 5, 9, 10, 11, 12) = 8日 2H執務 (26)・3H執務 (17, 19)・4H執務 (24) = 12時間 <u>支給対象日数及び時間数 = 8日間と12時間</u>	
4. 賃 金	単 価	@8,300円/日・@1,030円/H
	支給総額(A)	78,760円
	源泉徴収額(B)	0円
	差引支給額 (A) - (B)	78,760円
5. 備 考	上記のとおり支払ったことを証明する。 平成 年 月 日 日本透析医会研究助成事業 研究者(印) 殿	

出務整理簿

平成 年 月

執務者氏名.....

1	2	3	4	5	6	7
(日) 曜日	(月) 曜日	(火) 曜日	(水) 曜日	(木) 曜日	(金) 曜日	(土) 曜日
/	印	印	印	印	/	/
8	9	10	11	12	13	14
(日) 曜日	(月) 曜日	(火) 曜日	(水) 曜日	(木) 曜日	(金) 曜日	(土) 曜日
/	印	印	印	印	/	/
15	16	17	18	19	20	21
(日) 曜日	(月) 曜日	(火) 曜日	(水) 曜日	(木) 曜日	(金) 曜日	(土) 曜日
/	/	印 (3H)	/	印 (3H)	/	/
22	23	24	25	26	27	28
(日) 曜日	(月) 曜日	(火) 曜日	(水) 曜日	(木) 曜日	(金) 曜日	(土) 曜日
/	/	印 (4H)	/	印 (2H)	/	/
29	30	31				
(日) 曜日	(月) 曜日	(火) 曜日				
/	/	/			執務日 合計	12日
【備考】 雇用期間： 月 日 ~ 月 日					8H日数	8日
※勤務した日に押印する。時間単位の勤務は、必ず押印の下に 時間数を記入する。(分単位は切捨て)					4H日数	1日
勤務しない日の欄は斜線を引く。					3H日数	2日
					2H日数	1日

上記のとおり、執務したことに相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

勤務時間管理者.....印

経費区分の頭文字を記入 (消耗品費→“消”)

証拠書類番号

消 -1

時系列一連の番号を記入

平成 年 月 日

日本透析医会研究助成事業

研究者..... 殿

<立替者> 日本透析医会研究助成事業

研究補助者 (印)

立 替 払 調 書

ただし、平成 年 月 日 鉛筆ほか5点の購入代として、
下記のとおり立替払い致しました。

記

立替金額 ¥5,250- 費用区分 消耗品費

内 訳 封筒ほか5点代、別添請求書のとおり

上記の立替払金を受領しました。

平成 年 月 日

<立替者> 日本透析医会研究助成事業

研究補助者 (印)

立替払いは最小限にすること。やむを得ず立替払いをした場合は、速やかに研究費による精算処理をすること。収支簿（総括表）への記入例はP4を参照、収支簿（経理別）への記入例はP5を参照のこと。